

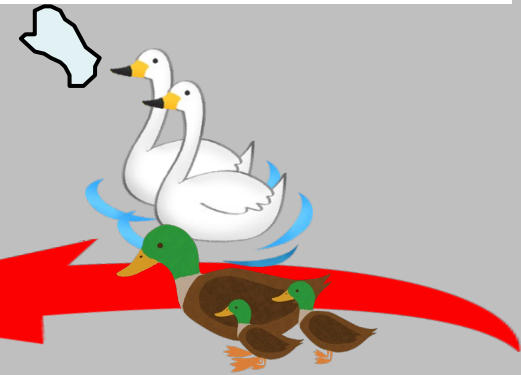
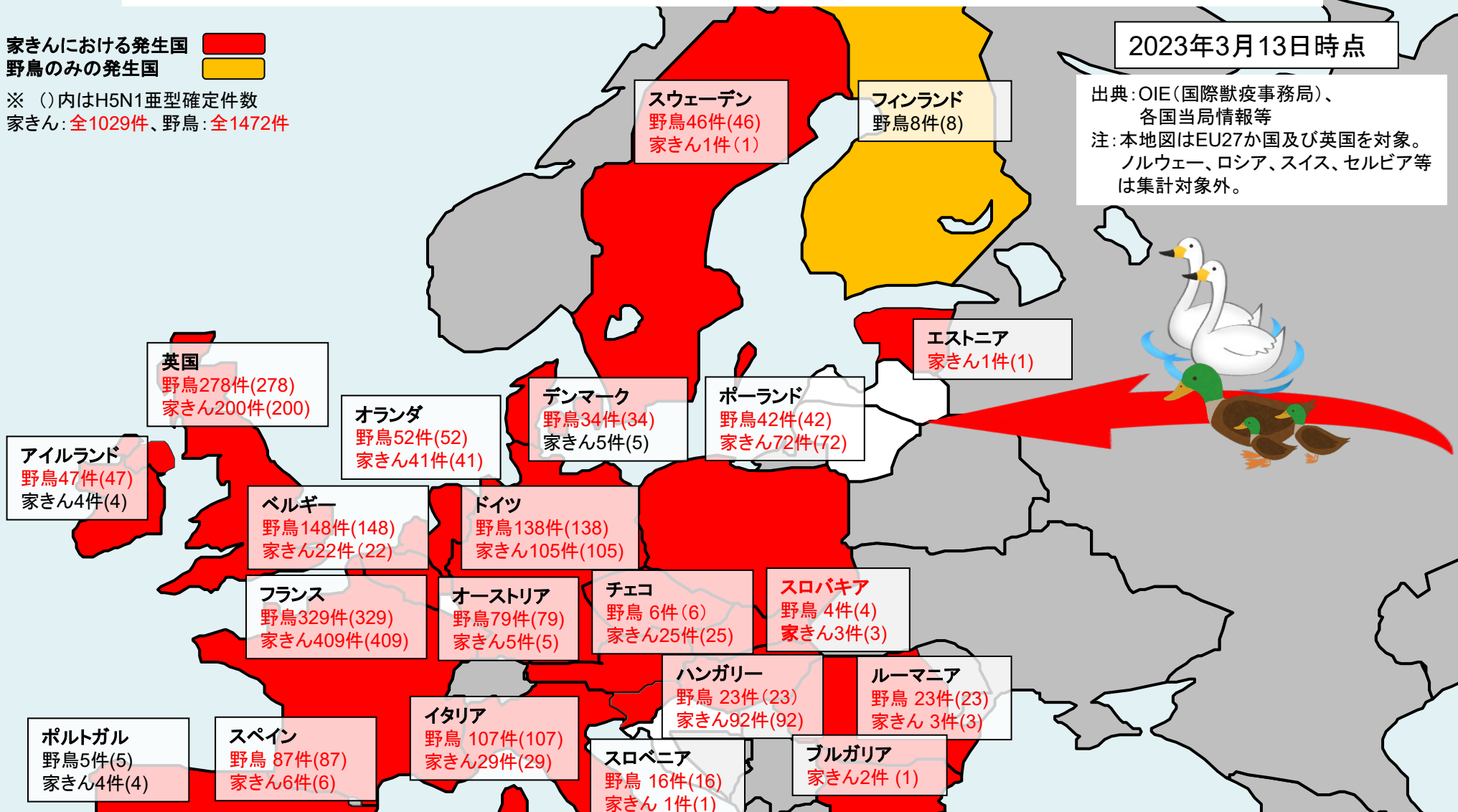
欧州における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2022年7月以降)

家きんにおける発生国 ■
 野鳥のみの発生国 ■

※ ()内はH5N1亜型確定件数
 家きん: 全1029件、野鳥: 全1472件

2023年3月13日時点

出典: OIE(国際獣疫事務局)、
 各国当局情報等
 注: 本地図はEU27か国及び英国を対象。
 ノルウェー、ロシア、スイス、セルビア等
 は集計対象外。



【今シーズンの発生に関するEU関係機関の見解】
 夏季でも野鳥からHPAIウイルスが検出されており、例年よりもHPAI感染のリスクが高い。
 特に北大西洋沿岸部において、海鳥の大量死が確認された。
 最近の傾向としては、海鳥種でのHPAIウイルス検出数は減少する一方で、水鳥での検出数の増加が観察されている。
 HPAIウイルスの家きん施設への侵入には、海鳥よりも水鳥の方がより深く関与している可能性が疑われている。